

モジュール8. 看護職への心理的ケア

教育時期: 1) 1年目中期

2) ~ 3) 3年目後期

教育方法: 1) ~ 3) 講義・グループワーク



8-1) 自分自身について語る

- 目的

自分自身をみつめ、自分自身について語ることの大切さを知る。

- 大項目

(1) 自分自身について語る



8-1)-(1)自分自身について語る

- 日頃感じている悩みや、思い、疑問などを自由に語る。
 - ・仕事に関する思いや悩み
 - ・死や生についての考え
 - ・看護観についてなど



評価

- 自分の悩みや思いを語ることによって心の安定を図ることができる。



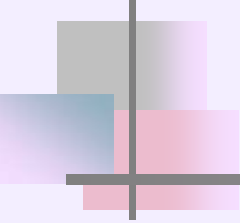
8-2) 看護職への心のケア

- 目的

終末期ケアに携わる看護職の体験するストレスについて理解する。

- 大項目

- (1) 終末期ケアに携わる看護職のストレス特性
- (2) ストレスマネジメント



8-2)-(1)終末期ケアに携わる看護師の ストレス特性

- 看護職特有のストレス
- 看護職のストレス(8項目)
 - ・患者との関わり、家族との関わり、医師との関わり、
看護師との関わり、自己の能力、看護体制・内容、
環境、他職種との関わり(1988小松ら)



8-2)-(2)ストレスマネジメント

- ストレスマネジメントの実際
- ① ストレスを生じさせる状況の頻度を最小にする
- ② ストレスに対する抵抗力を増加させる
- ③ ストレスにより生じる身体的な症状を避けるための条件づけを行なう
- ④ チームメンバーによる支え合い—コミュニケーションの促進



評価

- 終末期ケアに携わる看護師のストレス特性が理解でき、ストレスマネジメントが行なえる。



8-3) 死生観を育む

- 目的

死や生についての洞察が深められ、自己の死生観を明らかにする。

- 大項目

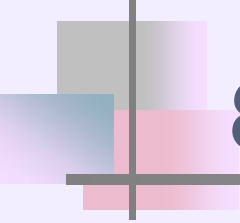
(1) 死生学(サナトロジー)の理解

(2) 自己の死生観について語る



8-3)-(1)死生学(サナトロジー)の理解

- 死生学の定義
- 様々な学問における死の定義
- 日本人の死生観



8-3)-(2)自己の死生観について語る

- 死や生について自分自身の言葉で話し合う
- デスエデュケーションの必要性



評価

- 自己の死生観を語る事ができる。